

サカタニ・友の会

2005年・第1号.Vol.66

とんからりん

2005年1月2日・集・西・楽 (株)サカタニ

075-561-7974fax 075-561-6710

ファミリーマート・サカタニ京阪七条店・075-561-0162

ホームページ・URL <http://www.sosake.jp>

会員の皆さまに

毎度有難うございます。

とんからりん新春大号をお届けしました。

旧年の漢字代表は「災」でした。

今年は「幸」が「福」が選ばれるように、

お互いにガンバリましょう！

集・西・楽・(株)サカタニ・

ファミリーマートサカタニ京阪七条店・

メール・E-mail info@soasake.jp

明けましておめでとうございます

旧年中は格別のお引立てを賜り心より御礼申し上げます。
本年も宜しくお願い申し上げます。

2005年1月 株式会社サカタニ 代表取締役 酒谷宏之

常務取締役 酒谷宗男 取締役相談役 酒谷義郎

幼 → 老

もう幾つ寝ると、
もうお正月かの間

「もう幾つ寝るとお正月」の歌の通りお正月は中々来ない、我家恒例の28日餅つきから正月までが随分長く思った幼い頃が有った。

このあいだ新年のご挨拶をしたばかりなのに、早、もう次の年がそこに来ている。1年がアツという間に過ぎてしまう今の感覚。

一年は365日、今年のような閏年は366日。一日も一秒は地球的決め事なのに幼老の年齢差で、遅く思ったり早く経つ感覚は何故だろう？

今年は、猛暑、台風、大水、地震が次々と襲い、世間騒がせなオレ俺、ヒッタクリ、テロ、親子殺人、放火、などが続いた。締めくくりに大津波とは、島倉千代子の歌詞をパックって「いろいろ」の一言では表現すること出来ない悪い年だった。

もうその悪い年も、後わずかでサルーなので追わないが、年を重ねると生じる過去と違う時間感覚について考えていたこの頃だ。

26日曜日、日課としている体操をしながら朝5時半の毎日テレビ番組「時事放談」を見ていた。野中広務元議員と日野原重明先生

がゲストで司会者をまじえの話が進む。その中で日野原重明先生は「命とは時」といわれた。ハッとした。もし自分に「命で何か？」と問いかけられたらどう答えるか。

「さあ」と考えても無理。

過ぎれば戻らない時間と自分の居る空間、その中に自分の命があることを「命とは時」という短い言葉で教えられた。

「時＝命」と思えば瞬時も無駄にもソマツにも出来ないと思う。

(日野原重明先生は聖路加国際病院名誉院長・93歳・著書多数出版されています)

年賀状のコ

手紙や葉書が毎日山のように届く。年末になるとそれらを捨てるもの、保存するものに分ける作業に丸一日かかる。ほとんどは捨てるに忍びないので、年々保存箱は増える一方である。私のほうもほぼ同じ数だけ出しているに違いないと気づくと、資源の無駄づかいという思いがふと胸をかすめる。

それでもパソコンや携帯メールの普及でさすがに郵便物は減ってきた。必要に迫られて持った携帯電話で私も最低限の字数でメールの

やりとりをしているが、急な用事を伝えたり、「虹が出ているよ」とか「満月がきれいだから空を見て」と送られてくるメールはまさにリアルタイムならではの効用だし、そんな会話も時には温かな活力になる。だから蔓延するメール文化をいちがいに否定する気にはなれない。

けれど相変わらず私はせっせと葉書を書く。東京で多忙な生活を送っている友人は、貴重なアナログ友だちと私のことをいい、自分も頻りに葉書や手紙を送ってくれる。書いてから私に届くまでの時間、返信を待つ間のタイムログがとても楽しいという。往復する数日間に気分や状況、あるいは世界規模で大きな変化があるかもしれない。そのわずかなズレ具合が郵便の醍醐味である。

前もって投函する年賀状も、考えてみれば悠長な習慣である。若いころは一枚一枚版画やイラストを手描きしていたが、最近印刷。それでも必ず何行かは自筆のメッセージを入れる。身近な人は投函してから会ってしまって文面の意味がなさなかつたりする。それでも年賀状を書く時は、新年になってから届く相手に何やら新鮮な気持ちになっている。気持ちというのは少し寝かしておいてから伝えたほうがコクが出るのかもしれない。(酒谷佳子)

ヨシイちゃんのヒトリゴト

今日の良き日
大君の生まれ賜いし

年中無休・24時間営業のコンビニをしています。色々な商品が毎日入って来ます。曜日によって入荷の品目が決まっています、注文も曜日毎です。今日何日かは忘れても、曜日は忘れない私です。

昔は深夜のお客さんから「開いて良かった」と言われお役に立った嬉しさで疲れも苦になりませんでした。近頃はコンビニも酒を売る店もムサンコに増え、さっぱりワヤです。嘆いても仕方のないこと、一生懸命生き働くの一手です。

さて、23日(木)のこと、木曜日と判っていましたが祭日だと気が付きませんでした。普段は学校が休みの日を注意していますが、今は冬休中なので「祭日」は私の中で無関係。向かいの「アマゾン」にコーヒーを飲みに行き、「天皇誕生日」の祝日だと知りました。

昔なら「不忠者」と大目玉を食うところ。「ああ天長節か」と呟くと「何それ」と言われました。

天皇誕生日を昔は天長節と言ったと説明し、国民学校時代は「式」があり校長先生が「奉戴殿(お写真を納めた場所)」から「御真影(天皇陛下のお写真)」を捧げて講堂にお飾りになり、生徒たちは「今日のよき日は大君の生まれ賜いし・」

と「天長節」の歌を合唱し、式後にはうれしい「紅白饅頭」が貰えた日だと話しました。お饅頭は食料不足で3年生以後は無しになりました。11月3日文化の日は、明治時代は明治天皇の天長節で後に明治節「アジアの東、日出るところ・」という歌が出来ました。何故か大正節は無く、歌もそのお誕生日すら何月何日知らない(私も)人が多いのは不思議でなりません。ナンデダロウ。

酒谷さん今は平成16年でっせ昭和天皇のお誕生日より今の天皇のお誕生日を覚えて貰わないと」とご注意を頂きました。

知らなくても不敬罪ならない平和で自由な日本に生きていて良かったと実感、これでケーキが良かったらジングル幸せ。世界には今も60年ほど前の日本と似た状態の国もあるのですから・・・

「すめらみこと」の赤子も頭は白、(紅白饅頭と掛けた駄洒落笑って)光陰矢の如しですなあと呟くヨシイちゃんです。

酉塾・12月11日の
熟成酒飲み比べ会で
酒屋が驚いた！！

ご存じでしょうが、当社ではお酒のお好きな方々で「酉塾」という勉強会をつくっています。殆どは勉強のお好きでない人達？で「飲む会」と言う方が正確かも知れません。

12月11日「集」で第5回「酉塾」で「2004年飲み納め大忘年会・熟成酒の飲み比べ」を開き、27名さんが参加下さいました。それに当社が「古酒」にしようと決めて3年~6年保冷蔵管存、酒質も毎年チェックしている11銘柄(下記銘柄)「古酒」を出品しました。

- 大山・山形県鶴岡市
純米吟醸「吟雅凛匠」H13.12
- 信濃鍋・長野県伊那市
大吟醸3年熟成「古希を贈る」H13.5
- 嘉美心・岡山県寄島町
特別純米袋取無濾過生酒「冬の月」H13.12
- 大山・山形県鶴岡市
純米大吟醸零酒「大山」H12.6
- 日出盛・京都市伏見区
5年古酒「日出盛」H16.11(注.1)
- 諏訪泉・鳥取県智頭町
大吟醸「鵬」H9.11
- 若竹・静岡県島田市
純米大吟醸「女泣かせ」H0.10(注.2)
- 浦霞・宮城県塩釜市
大吟醸しずく酒「浦霞」H9.6
- 日置桜・鳥取県青田町
純米大吟醸「無垢の酒」H12.3

福の友・秋田県神岡町
純米大吟醸「亀ノ尾で造った」H13.12
浦霞・宮城県塩釜市

大吟醸「浦霞」H.11
(注1は蔵元で5年・注2は瓶熟2年後出荷)
試飲された方々は「古酒」がこんなに美味しくなるとは知らなかったと感心されました。

その酒と別に「生数寄」と言う銘柄の酒をも出しました。その酒は、福井県勝山市佐々木酒造の醸造(銘柄宇治川、10年程前に廃業された)で平成4年11月瓶詰の大吟醸酒です。そのうちの1本を新聞紙に巻き、冷蔵庫の隅に入れてスッカリ忘れていたのを思い出し参考酒にしました。瓶詰から丸12年経っています。

戦前の酒は1~2ヶ月で「白濁」するもの、戦後は保存用刈刈酸入でしたが1年程で「茶色」に変色したものがありません。今は醸造技術や酒質管理状態は格段進歩し、日本酒の味は最高です。そして最近、造り方、保存に気を付けた酒が「古酒」でも販売されています。

といっても私の経験則で、なんぼなんでも日本酒は10年限度が常識と思っていました。ですから酒質に自信がなく「生数寄」を参考酒にしました。飲み比べ会の準備で巻いた新聞紙をとり透かして見ると沈殿物は無い、恐る恐る開栓しました。利き猪口に入れると、新酒とは違った香りです。ひね香も瓶香(古くなった酒に付く)もしません。

ほんのりと甘い香りで「テリ」も良く「色」も少し黄色ポイが輝いている。口に含むと表現しようの無い旨さとふくらみと重厚な酒になっていました。シマツタもう今日で無いのだ、もう1本残して置けば良かった。「酉塾」の中で酒にウンチクがあり利き酒師資格の有る道坂氏(酉塾世話役代表)「ウーン」と唸って、本当に12年もの「ラベル日付」をみて「参ったすごいなあ」と言われた。愈々日本酒が「ビンテージ(年代物)」の時代が来た嬉しさと当社の「酒保管」にも確信が持てた価値のある「酉塾」でした。(注)その日入札で販売し殆ど売れました。「女泣かせ」と「浦霞」はまだ数本あります。

朝粥会のこと

前に厨房が出来たら「朝粥たべてのオシャベリ会」が出来ればと書きました。その件で「どうなりました」ご質問。

何とか早くと思って居るのですが、私共だけで出来ず困っていると言いました。その方がお手伝い出来ると言って下さいました。

2階が定休日の月曜（7時～10時）で2月末か3月からスタートしようと思います。ボランティア参加して下さる方のお申出下さい。561-7974.

酒谷義郎まで・**待ってマ～ス**
(注)曜日、時間、回数、などマダ暫定案で何も決めていません。

投書

何時からか変になった

先日、知人の学生に事件がありました。学校へ報告されたのですが、先生は聞くだけで何の対処もされにとのことです。

私は、事件は親と教師のなすり合いの様に思いました。

学校が5日制になって「ゆとりの教育」とか言われていますが、生徒の学力、運動力は低くなっているとか。昔のようにもう少し厳しく道徳などを入れた教育を願うのは私だけでしょうか？

何時のころからこんな変な社会になったのでしょうか？

子供が親を殺し、親が子供を殺す。日本の未来に絶望を感じるこのごろです。

匿名希望

温まる冬料理.二題

【鮭のかす煮】

用意・鮭の切り身、ゴボウ、大根
鮭が焦付かないように鍋床に野菜をひくように並べる。ゴボウはササガキにする。大根はイチヨウ切りに。だし汁に浸す。
10分ほど煮立てたら、前もって湯でとかしたておいた板酒粕を入れる。次におろしショウガを少し入れ香りつける。粕はショウガと相性が良い。最後にいきザミねぎをちらす。

【けんちん汁】

用意・大根、ゴボウ、里いも、
上記をサラダ油でサッと炒めると、煮干でとっただし汁を加える。葉ものは入れない(ねぎは別)材料は多いほど旨い。材料が煮え立ったところを見計らって、醤油を入れる。塩少々で味を調えサラダ油を少し入れ、ひと煮立てさせてできあがり。

八海醸造株式会社発行「魚沼へ」(連載・八海山のおもてなし)より借用しました。お試し有れ!

お知らせ 1月の「催事」など

第2回・松本創平写真展

冬景色

日・12月28日～1月8日
時・10時30分～21時まで
鑑賞無料

○集re 喫茶ルーム

京都女子大学

絵画部 有志展覧会

日・1月20日～
～2月10日
時・10時30分～21時まで
鑑賞無料

○集re 喫茶ルーム

音の風 音楽会

日・1月30日(日)
時間 19時30分～
会費・500円
1ドリンク付
○集re 喫茶ルーム

三十三間堂・通し矢・

1月16日(日)10時頃～
ファミリーマート・
サカニ京阪七条店頭にて
清酒日出盛・樽酒 無料ご接待
甘酒 準備分無くなるまで
当日・ファミマ・サカニ共サービス
有りご来店を!

沖縄泡盛・忠孝受賞記念ライブ

沖縄の音楽

なあ！ライブ

日時・1月22日
19時・開場
19時30分・開演
会場・楽々ホール
前売り予約 2000円・
当日 2300円
1ドリンク
+ 泡盛「忠孝」試飲付

お届けした封筒裏面に八海山の「広告」を入れました。新潟中越地震の被災地の中にあり私たちも心配していましたが、蔵は大きな被害はなかったとの事です。そのお陰で季節限定「しぼりたて原酒」が無事入荷しました。1年に1度、12月だけ発売品で本増醸造生原酒です。アルコール度数が高く、力強い飲みごたえが有り、すっきりとした後味が特長です。数量限定販売品です。品切れ

の節はお許しを。

【魚沼や手延べ杵つき餅】

魚沼産黄金もち米 100%で年末限定品「白餅と豆餅の2種類300G入り=角餅6ヶ」が入荷しました。1袋630円(税込み)で2階「西サカニ」

地図カンバン物語 旧貞教区内

第5話の 二つの博物館

「国立京都博物館」前号掲載済

「洛東遺芳館」今号掲載

写真は同館
入場券より

前号の「国立京都博物館」続き、今回は旧貞教校区のもう1つの博物館「洛東遺芳館」のことを書く。

京の街の「ミュージアム」「洛東遺芳館」は東山区問屋町通五条下ル西橋町472番地にある。

「問屋町」って何処と聞かれそうなので先に紹介しよう。この通は五条大橋東詰、鴨川東岸道路（川端通）の1つ東の道で五条通南側から正面通間の極短い南北の通である。

五条通南側が戦争中の強制疎開と戦後の拡幅されるまでは、北は宮川筋につながっていた。

今は住宅街の様な静かな通だが、江戸時代末から明治まで鴨東の市場街で、その名を五条市と呼び、特に青物市が名高く、干物店なども軒をつらねて賑わっていたと言われる。戦前は石畳の道が半兵衛麩さん近くまで残っていた様な記憶がある。半兵衛麩さんの下（南）に有る市場の守り神「市姫社」（通西側）もその名残としてある。

さて、洛東遺芳館は京の豪商「柏屋（柏原家）」を母体として、昭和49年（1963）に開館された。現在の建物は宝暦13年（1763）に増築されたもの。幾多の大火を逃れ、敷地1700㎡の中に部屋数は36もある江戸時代の商家の体裁を残している。

柏原家は、肥後熊本に加藤清正の家臣柏原郷右衛門を祖にした柏原三右衛門が、正保2年（1645）この地に居を構え、京小物、扇子、を商い、元禄時代に江戸に木綿、漆器、紙など店を出し、「江戸店持ち京商人」となり「豪商」の列に加わった。又、代々篤志家で、町内や加茂川の川浚いなどに再々資金を提供したと記録されている。

「質素と薄利多売」をモットーにした家訓は、現在も東京日本橋で堅実に隆盛されているの柏原紙商事(株)など同家関連会社に生きているのだろう。

その柏原家では、同家にかかわる江戸時代初期からの文化遺産を蔵に収め散逸することなく継承なさってきた。

これを江戸文化の学術研究や一般公開にすることが、社会への報恩になるとの柏原家当代のご意思で開設されたのが洛東遺芳館である。

館内には柏屋の伝承品で有る江戸時代からの、婚礼調度品、掛け軸、屏

風、浮世絵、衣装、陶磁器、茶道具、刀剣、古文書などの中から順次展示されている。春と秋の2回特別公開されて大人300円、特別公開期間は月曜と祭日の翌日が休館日で、見学には1時間余要する。

こんな近くの民営の博物館で江戸時代の豪商屋敷と、江戸文化が身近にあるのはうれしい。公開時は是非見学をして貰いたいと思う。

(TEL075-561-1045

FAX561-3651)

「京都シネマ」
開館！

12月4日、四条烏丸に「京都シネマ」という新しい映画館がオープンしました。

朝日会館にあった「朝日シネマ」が閉館し、その支配人さんを中心に新しく生まれ変わったのです。

早速「みんな誰かの愛しい人」というフランス映画を観に行きました。COCON 烏丸ビルの三階に有る映画館のロビーや三つある劇場の内装、座席の背もたれや肘掛にも木を使った落ち着いた雰囲気、前の人の頭が邪魔にならないように座席がずらしてあるのもうれしい心遣いです。

最新式のトイレ（実際に行って確かめてください）の入り口にはプレミアム会員の名前を記したプレートが。私も受験の合格発表を見るようにドキドキと自分の名前を探してきました（注・別のペンネームで出ています）。劇場の入り口で、初老の男性が「どうぞゆっくりご覧下さい」と丁寧に頭を下げてくださいたのにも感激しました。

遊園地のような映画館が氾濫する中、本当に映画を愛する人たちがつくった映画館で、人生に染み入る映画を観たいものです。

(三咲 あおい)

楽々コンサート

津軽三味線の会
の感想

2004年も後僅か、今年は色々な災害が多い年でした。私自信にもいろんな事があり大殺界の年かなと思いました。

先日「楽々ホール」で津軽三味線の演奏会が有りました。

心に響く迫力のある音色をきいて以前訪れた津軽の広々とした美しい平野、そこに悠然とした岩木山が目に見え懐かしさもう一度訪ねてみたくなりました。

今こそ津軽三味線は多くの人に親しまれ有名になりましたが、昔は生活のために門付けをして廻らされていたと聞いています。

気持ちの落ち込んだ時あの音色を聞くと心がいやされます。今回はマイクを使用されましたがあれだけの迫力ある音色、一度マイクなしで耳にしたいと思いました。

又、演奏会をお願いします。

F女・記

(会話にはマイクを使用しましたが演奏は殆ど使わずでした。編集係)

先日、知人の学生に事件がありました。学校へ報告されたのですが、先生は聞くだけで何の対処もされにとのことです。

私は、事件は親と教師のなすり合いの様に思いました。

学校が5日制になって「ゆとりの教育」とか言われていますが、生徒の学力、運動力は低くなっているとか。昔のようにもう少し厳しく道徳などを入れた教育を願うのは私だけでしょうか？

何時のころからこんな変な社会になったのでしょうか？

子供が親を殺し、親が子供を殺す。日本の未来に絶望を感じるこのごろです。